

「北海道を元気に」と想いをこめて

株式会社ニトリが実施している北海道応援基金助成事業は、社会貢献活動の一つとして取り込まれ環境・教育・観光・福祉の5つの分野の活動に対し助成を行なっています。

第5回目を数える2009年度の事業で安平町の自然環境保護活動の取組みが評価され、5月18日から31日にかけて瑞穂ダムと早来北進の町有林に植樹が行なわれました。

瑞穂ダムには花と緑と水辺の調和のとれた景観整備を目的にエゾヤマザクラ 160本、町有林には、野生生物と共存できる森づくりを目的にミズナラ 13,600本の苗木を植えられ、豊かな自然を後世へと引き継いでいきたいと考えています。

安全安心な地域社会に

地域の防犯活動を推進するため車両に装着できる青色回転灯の申請をしていた安平自治会と第二新栄自治会に苫小牧警察署から許可が下り、6月1日に役場早来庁舎で青色パトライトの交付と注意事項の説明が行われました。「ライトを点灯しながら巡回することで犯罪の抑止効果が期待できます」と警察署職員が説明。自治会の方は安全で安心できる地域社会を目指して決意を新たにしていきました。



警察署職員の説明を聞く地域の皆さん

地域から行政に意見や質問

安平町の自治会や町内会の代表者が集まり6月3日に役場早来庁舎で自治会長等会議が開催されました。

行政側からの周知や依頼事項が説明された後、地域の代表者の皆さんから下水道の整備状況や道路の維持補修に対する意見や保育園跡地利用などの質問などが出されました。



資料を見ながら役場職員の説明を聞く出席者の皆さん

小さなかけがえのない命を育むために

東いぶり・日高人権啓発活動ネットワーク協議会では、命の大切さや思いやる精神を身につけてもらうことを目的に「人権の花運動」を行なっています。

6月1日から4日にかけて町内の小学校（遠浅小学校、富岡小学校、早来小学校）にサルビアやマリーゴールドなど花の苗486株が贈呈されました。

6月4日贈呈式のため早来小学校を訪れた人権擁護委員の實吉智子さんは「花にも命があります。種から大事に育ててくれた生産者の思いを受け止め、一人ひとりが一つひとつの花に心をこめて大切に育ててください」と命の大切さを伝えました。



早来小6年生による植栽作業



プランターを設置する富岡小児童



人権の花贈呈式（遠浅小）